



平成27年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年5月13日  
東

上場会社名 K L a b株式会社 上場取引所  
コード番号 3656 URL <http://www.klab.com/jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 真田 哲弥  
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 高田 和幸 (TEL) 03-4500-9077  
四半期報告書提出予定日 平成27年5月13日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第1四半期の連結業績(平成27年1月1日～平成27年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第1四半期	5,637	27.4	1,019	960.8	1,001	840.2	425	732.8
26年12月期第1四半期	4,425	24.8	96	—	106	—	51	—

(注) 包括利益 27年12月期第1四半期 471百万円(872.3%) 26年12月期第1四半期 48百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第1四半期	11.76	11.48
26年12月期第1四半期	1.56	1.50

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第1四半期	12,397	9,576	76.9
26年12月期	12,731	9,075	70.8

(参考) 自己資本 27年12月期第1四半期 9,532百万円 26年12月期 9,019百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年12月期	—	—	—	—	—
27年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期の連結業績予想(平成27年1月1日～平成27年6月30日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,138	5.8	1,419	103.8	1,401	100.1	574	6.0	15.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年12月期1Q	37,386,000株	26年12月期	37,291,500株
27年12月期1Q	1,169,200株	26年12月期	1,174,000株
27年12月期1Q	36,194,029株	26年12月期1Q	32,786,652株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
(3) 追加情報 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結会計期間の売上高は5,637,707千円となり、前年同四半期比27.4%の増加、直前四半期比3.7%の増加となりました。

売上高の増加要因は以下の通りです。

- ・年始イベントにより2015年1月の売上が好調。
- ・「天空のクラフトフリート」及び「テイルズオブアスタリア」の売上が堅調に伸びた。

費用面では、売上原価は3,606,398千円となり、前年同四半期比10.6%の増加、直前四半期比1.2%の増加となりました。これは売上高の増加に伴い支払手数料及び使用料が増加したことによるものです。

販売費及び一般管理費は1,011,872千円となり、前年同四半期比5.2%の減少、直前四半期比36.7%の減少となりました。直前四半期では政策的に広告宣伝費を増加させましたが、当第1四半期連結会計期間においては、広告宣伝費を元の費用水準まで戻したことにより減少しました。

「クリスタルファンタジア」に係るソフトウェアの減損処理等を行ったことにより、特別損失66,840千円を計上しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高5,637,707千円（前年同四半期比27.4%増）、営業利益1,019,435千円（前年同四半期比960.8%増）、経常利益1,001,135千円（前年同四半期比840.2%増）、四半期純利益425,586千円（前年同四半期比732.8%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は12,397,011千円となり、前連結会計年度末に比べ、334,323千円の減少となりました。

流動資産合計は10,021,302千円となり、前連結会計年度末に比べ、494,677千円の減少となりました。これは主に、現金及び預金、売掛金の減少によるものであります。

固定資産合計は2,375,709千円となり、前連結会計年度末に比べ、160,353千円の増加となりました。これは主に、無形固定資産の増加によるものであります。

## (負債の部)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は2,820,794千円となり、前連結会計年度末に比べ、834,668千円の減少となりました。

流動負債合計は2,773,899千円となり、前連結会計年度末に比べ、819,516千円の減少となりました。これは主に、未払金の減少によるものであります。

固定負債合計は46,894千円となり、前連結会計年度末に比べ、15,151千円の減少となりました。これは主に、長期借入金の減少によるものであります。

## (純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は9,576,217千円となり、前連結会計年度末に比べ、500,344千円の増加となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年12月期第2四半期連結累計期間の業績見通し

当社グループの属するモバイルオンラインゲーム業界は、ヒット作の有無により業績が大きく変動いたします。現時点において、平成27年12月期（通期）の業績見通しを見積もることは困難であるため、平成27年12月期（通期）の業績見通しは開示いたしません。

なお、平成27年12月期第2四半期連結累計期間の業績見通しは以下の通りとなっております。

平成27年12月期第2四半期連結累計期間（平成27年1月1日～平成27年6月30日）

売上高	10,138百万円
営業利益	1,419百万円
経常利益	1,401百万円
四半期純利益	574百万円

上記に記載した将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後の様々な不確定要素により変動する可能性があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## 税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

## (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

## (会計方針の変更)

「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 平成25年12月25日)を当第1四半期連結会計期間より適用しております。なお、適用初年度の期首より前に締結された信託契約に係る会計処理については、同実務対応報告の方法によらず、従来採用していた方法を継続しております。そのため、四半期連結財務諸表への影響はありません。

## (3) 追加情報

## (従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い)

当社は、当社の成長を支える従業員に対する福利厚生制度をより一層充実させるとともに、株価上昇へのインセンティブを付与することにより、当社の業績や株式価値に対する従業員の意識を更に高め、中長期的な企業価値の向上を図ることを目的として「従業員持株ESOP信託」を導入しております。

## (1) 取引の概要

ESOP信託は、当社従業員持株会の「K L a b 従業員持株会」(以下「持株会」)が5年間にわたり取得すると見込まれる数の当社株式を一括取得し、毎月一定日に持株会へ売却を行います。

当社株式の取得、処分については、当社がESOP信託の債務を保証している関係上、経済的実態を重視した保守的な観点から、当社とESOP信託は一体であるとする会計処理を行っております。

従って、ESOP信託が所有する当社株式を含む資産及び負債並びに費用及び収益については四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書に含めて計上しております。

## (2) 「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 平成25年12月25日)を適用しておりますが、従来採用していた方法により会計処理を行っております。

## (3) 信託が保有する自社の株式に関する事項

## ① 信託における帳簿価額

前連結会計年度123,909千円、当第1四半期連結会計期間121,773千円

## ② 当該自社の株式を株主資本において自己株式として計上しているか否か

信託が保有する自社の株式は株主資本において自己株式として計上しております。

## ③ 期末株式数及び期中平均株式数

期末株式数 前第1四半期連結会計期間289,700株、当第1四半期連結会計期間273,400株

期中平均株式数 前第1四半期連結累計期間292,442株、当第1四半期連結累計期間276,454株

## ④ ③の株式数を1株当たり情報の算出上、控除する自己株式に含めているか否か

期末株式数及び期中平均株式数は、1株当たり情報の算出上、控除する自己株式に含めております。

## (法人税率の変更等による影響)

「所得税法等の一部を改正する法律」(平成27年法律第9号)が平成27年3月31日に公布され、平成27年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率の引下げが行われることとなりました。

これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来の35.64%から、平成27年4月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異等については33.10%に、平成28年4月1日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異等については32.34%となります。

なお、この税率変更による影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,249,978	6,854,699
売掛金	2,574,935	2,475,514
その他	691,526	691,548
貸倒引当金	△460	△460
流動資産合計	10,515,980	10,021,302
固定資産		
有形固定資産	215,843	199,771
無形固定資産		
のれん	56,726	50,423
その他	728,606	907,798
無形固定資産合計	785,332	958,222
投資その他の資産		
その他	1,220,132	1,223,669
貸倒引当金	△5,953	△5,953
投資その他の資産合計	1,214,179	1,217,715
固定資産合計	2,215,355	2,375,709
資産合計	12,731,335	12,397,011
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,255,495	1,224,733
賞与引当金	93,620	23,310
未払法人税等	567,306	495,349
その他	1,676,994	1,030,506
流動負債合計	3,593,416	2,773,899
固定負債		
長期借入金	60,000	45,000
その他	2,045	1,894
固定負債合計	62,045	46,894
負債合計	3,655,462	2,820,794
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,416,095	4,429,476
資本剰余金	4,111,851	4,125,232
利益剰余金	1,222,615	1,648,202
自己株式	△619,189	△617,053
株主資本合計	9,131,373	9,585,857
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△112,322	△53,141
その他の包括利益累計額合計	△112,322	△53,141
新株予約権	15,538	15,155
少数株主持分	41,283	28,345
純資産合計	9,075,873	9,576,217
負債純資産合計	12,731,335	12,397,011

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
売上高	4,425,544	5,637,707
売上原価	3,261,818	3,606,398
売上総利益	1,163,726	2,031,308
販売費及び一般管理費	1,067,628	1,011,872
営業利益	96,097	1,019,435
営業外収益		
業務受託料	19,978	3,750
受取利息	1,050	695
事業構造改善費用戻入額	11,368	—
その他	1,114	8,451
営業外収益合計	33,512	12,898
営業外費用		
支払利息	3,480	206
持分法による投資損失	—	1,874
為替差損	18,605	20,309
その他	1,036	8,808
営業外費用合計	23,123	31,198
経常利益	106,486	1,001,135
特別利益		
自己新株予約権消却益	2,344	23
特別利益合計	2,344	23
特別損失		
事務所閉鎖損失	13,069	—
減損損失	—	65,325
その他	39	1,514
特別損失合計	13,108	66,840
税金等調整前四半期純利益	95,722	934,319
法人税等	42,350	520,357
少数株主損益調整前四半期純利益	53,371	413,961
少数株主利益又は少数株主損失(△)	2,271	△11,624
四半期純利益	51,100	425,586

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	53,371	413,961
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△4,847	57,867
四半期包括利益	48,524	471,829
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	46,581	484,767
少数株主に係る四半期包括利益	1,943	△12,937

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動

当第1四半期連結累計期間において、ドイツ銀行ロンドン支店による新株予約権の権利行使等があり、資本金が395,329千円、資本準備金が395,329千円増加しました。この結果、当第1四半期連結会計期間末において資本金が3,143,420千円、資本剰余金が2,839,175千円となっております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年3月31日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計 (注)
	ゲーム事業	その他事業	
売上高			
外部顧客への売上高	4,414,456	11,087	4,425,544
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	4,414,456	11,087	4,425,544
セグメント利益又は損失(△)	1,166,646	△2,920	1,163,726

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しているため、差異調整は行っておりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計 (注)
	ゲーム事業	その他事業	
売上高			
外部顧客への売上高	5,626,366	11,340	5,637,707
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	5,626,366	11,340	5,637,707
セグメント利益	2,030,666	641	2,031,308

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しているため、差異調整は行っておりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ゲーム事業」セグメントにおいて、ソフトウェアの減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間において65,325千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。